



# たいき 議会だより

No.181

2020  
令和2年  
7月発行

- 第1回～3回 臨時会
- 第2回 定例会
- 一般質問

- コロナ関連補正予算 …… P2～3
- 一般会計補正予算他 …… P4～5
- 8名の議員が8項目を問う …… P6～14

※写真は、小雨の中で熱戦が繰り広げられた「道新杯グレートボール大会」のひとコマです。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動自粛していましたが、緊急事態宣言が解除され、約3カ月ぶりにも「ボール」！

発行／北海道大樹町議会  
編集／大樹町議会広報広聴常任委員会



# ・商工業者を応援！

専決事件 1 件を承認  
補正予算 1 件を議決

## 行政報告

- 「大樹町新型コロナウイルス対策本部」を設置
- 将来にわたって活力あるまちづくりを進めるための「第2期大樹町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定
- 大規模自然災害から町民の生命財産を守るための「大樹町強靱化計画」を策定
- まちの安心安全に協力いただける地域安全推進協議会委員40名と交通安全指導員14名を委嘱

町のホームページから  
ご覧いただけます



総合戦略



強靱化計画

# 当たり一律10万円！

補正予算 1 件  
財産の取得 4 件  
を議決

## 財産の取得

名 称	相 手 方	取得金額
43人乗り大型バス	(有)三浦自動車工業	4,455万円
町営牧場 給餌用ミキサーフィーダー	(株)中セキ北海道 大樹営業所	935万円
除雪グレーダ	(有)三浦自動車工業	6,402万円
給食センター 立体型炊飯器	タニコー(株) 帯広営業所	1,210万円



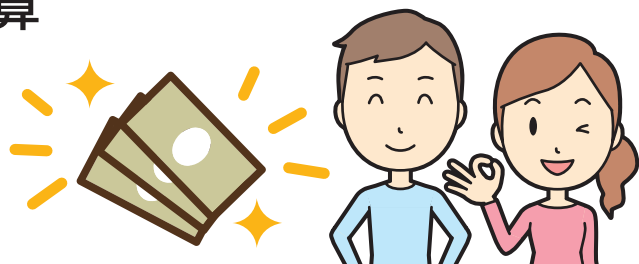
平成元年取得、32年経過した福祉号

# 世帯&商工業者応援

条例改正 5 件  
補正予算 2 件  
財産の取得 1 件を議決

## 国民健康保険事業会計予算 100万円を追加補正

新型コロナウイルスへの感染等で就労できない国民健康保険加入者に傷病手当を支給するための予算を追加しました。





## 第1回 臨時会

# 3つの経済支援対策で飲食店 (4月14日開会)

# 新型コロナウイルス関連予算

## 一般会計予算3,874万円を追加補正

新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが減少した商工業者を支援し、町内消費を喚起するため「クーポン券とプレミアム付商品券の発行」「資金繰り支援」の経済対策を行う予算を追加しました。

また、補助金などを利用して、移動図書館車や行政区会館の椅子と机を購入するための予算も追加計上しました。



クーポン券発行費用 (1人1,000円分を全世界帯に)	
プレミアム付商品券発行費用 (プレミアム率25%・1万セット)	2,110万円
融資資金利子補給 (1件1千万円まで5年間)	
行政区会館備品	256万円
移動図書館車費用	1,507万円

## 第2回 臨時会

# みなさん受け取りましたか？ 1人 (4月28日開会)

## 一般会計予算5億6,160万円を追加補正

新型コロナウイルス感染症流行に伴う国の特別定額給付金事業に要する経費を追加しました。

令和2年4月27日時点で大樹町の住民基本台帳に登録されている2,747世帯、5,485人の方が支給対象です。

※参考：7月10日現在給付済2,659世帯（96.8%）



## 第3回 臨時会

# 経済対策 第2弾！子育て (5月14日開会)

## 一般会計予算3,237万円を追加補正

児童手当を受給している世帯へ対象児童1人につき1万円の臨時特別給付金を支給する経費618万円、漁港施設の維持経費1,520万円、落雷による公共施設修繕料162万円などの他、北海道の営業自粛要請期間に協力いただいた商工業者へ一律20万円支給する休業等協力事業者支援金1,000万円を追加計上しました。



# 追加計上！

陳情2件、報告1件、委員の推薦1件、委員の選任20件、条例の一部改正2件、補正予算2件、計画の策定1件、契約の締結3件、意見書1件を議決

## 「漁業・商工業者等支援金」、「学習端末購入費用」などを追加予算で原案可決

可決



新型コロナウイルス感染症の影響で売上が一定程度減少した事業者等に対して、経営継続の支援として支援金を給付するものです。常時、従業員を1人以上雇用している事業者にあつては50万円を、常時雇用している従業員がいない事業者にあつては、30万円を上限としました。

本年2月から12月までの売上と、去年の対応する月ごとの売上それぞれを比較して20%以上減少している月の減少額合計と上限額のいずれか低い額を給付しようとするもので、漁業者及び商工業者などに対する支援金として5,500万円を追加しました。

国が示す、GIGAスクール構想に従い、学校内ネットワークの整備と全校児童、生徒の学習用端末を購入するため8,503万円を追加しました。

**問** 辻本 正雄 議員  
今回導入するタブレットは学校外で使用するリモート授業に対応しているのか。

**答** 瀬尾学校教育課長  
文部科学省から指示された家庭でも使える機器を選定して対応する予定。



可決

(※イメージ)

## 2件の陳情を審議しました

- ▷ 福祉センターのリニューアルについての要望  
総務常任委員会に付託し継続審査としました。
- ▷ 新たな基本計画における農村振興の強化を求める意見書採択に関する陳情書  
経済常任委員会に付託し採択としました。
- ▷ 食料・農業・農村基本計画における農村振興の強化を求める意見書の提出  
経済常任委員会から意見書を提出しました。  
[提出先] 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣





## 第2回 定例会

# 一般会計補正予算2億104万円を 6月9日～6月12日(4日間)



太田 勝義 氏

### 人権擁護委員の候補者推薦

太田 勝義 氏の推薦に適任としました。

\*任期3年

\*人権擁護委員とは？

地域住民の中から人権擁護に理解のある人を町が推薦し、法務大臣から委嘱された方々です。

人権擁護委員は、皆さんの人権が侵害されたときに、その相談を受け速やかに対応します。

### 大樹町固定資産評価審査委員会委員の選任

宮原 章夫 氏を選任することに同意しました。

\*任期3年

\*固定資産評価審査委員会とは？

固定資産課税台帳に登録された価格に関する納税者の方からの不服を審査決定するために、法律に基づき設置された第3者機関です。大樹町の定数は3人です。



宮原 章夫 氏

### 教育委員会委員の任命

一戸 勉 氏を任命することに同意しました。

\*任期は4年ですが、一戸氏は前任者の残任期間である令和2年9月30日までです。

\*教育委員会とは？

教育委員会は地域の学校教育、社会教育、文化、スポーツに関する事務を担当する機関として全ての都道府県及び市町村等に設置され、教育長及び4人の委員で組織されています。



一戸 勉 氏

### 大樹町農業委員会委員の任命

\*大樹町農業委員会委員の任期満了により18人を任命することに同意しました。

\*任期3年

\*農業委員会とは？

「農業委員会等に関する法律」に基づいて市町村に設置が義務づけられた行政委員会です。地域や関係団体から推薦された方や応募された方の中から選考され、議会の同意を得て町長に任命された農業委員で構成されています。詳細は、広報たいき8月号をご覧ください。

ここが聞きたい!

# 町民の声を



## 一般質問

# 町政に届ける

町民の代表として8名の議員が8項目について質問しました



### 寺嶋 誠一 議員

◎新型コロナウイルス感染症被害の対策について



### 辻本 正雄 議員

◎高齢者交通事故防止対策について



### 西山 弘志 議員

◎職員の労務管理・研修等について



### 船戸 健二 議員

◎新型コロナウイルス警戒状況下における防災対策



### 松本 敏光 議員

◎災害時における水の供給態勢について



### 西田 輝樹 議員

◎新型コロナウイルス対策について



### 志民 和義 議員

◎国の第2次補正予算案の使い道について



### 齊藤 徹 議員

◎次年度以降の高齢者・障がい者福祉事業の取り組み

### ◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

#### ・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は1問につき30分以内です。答弁の制限時間はありません。

#### ・一問一答方式

議員と町長が対面して、1つ質問をして、1つ回答をします。

#### ・事前通告

質問する議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

#### ・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。



授業中もマスク着用が定着



ここが聞きたい!

## 一般質問

質問

# 住民の抗原検査推進を

答

無症状者の検査は実施できない

### Q1 新型コロナウイルス感染症被害の対策について

質問

新型コロナウイルス災禍による外出自粛要請で、町内の飲食業をはじめ、あらゆる業界が一定期間の休業により多大な経済的損失を受けた。

大樹町においても、経済救援策として、消費喚起を促すクーポン券やプレミアム商品券、中小企業支援対策の資金繰り対策の他、政府系の一時給付金、雇用調整助成金等がある。ウイルスの感染予防と経済活動を同時に進める二律背反状態で生活するためには、疑いのある方だけが検査を受ける体制では実用性が低いが、全町民の抗原検査で

あれば可能と考える。この検査が実施され、陽性者が判明した場合、隔離体制などについてお聞きする。

答 (酒森町長)

国は現在検査体制の強化を推進しているが、検査対象は、「診察した医師により感染の疑いがある方のみ」となっており、無症状者は実施できず、全町民の検査には取り組めない状況。陽性者が判明した場合は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、隔離体制の措置をとる。

質問

3か月以上の休校により、学力低下の遅れを取り戻す事が最優先課題と

思うが、長期休校による影響で、児童・生徒達の精神的負担が大きな懸念と考える。

児童・生徒のメンタルケアや教育環境において「コロナ差別」をしない、させないなど、道徳教育や人道支援教育についてお聞きしたい。

答 (板谷教育長)

長期に渡る外出自粛や臨時休校により子ども達の不安やストレス、新生活スタイルに対する適合不安など、担任や養護教諭を中心に、きめ細やかな観察を重視している。

教育の目的である人格形成に関わる心の教育「道徳」において、差別や偏見にスポットを当て、これまで以上に心に響く

指導を徹底し、町も協力し支援していく。

寺嶋議員

文科省が推奨しているGIGAスクール構想が、新型コロナウイルス発生により、未来の学習スタイル(オンライン授業)が早まった感があるが、学力だけでなく人格形成に関わる「心」の教育こそが学校教育の本懐であると考える。

我々の責務は、苦難に負けない強い意志と、未来ある子ども達に恥じない責任ある行動であり、できる事を可能な限り進め、1日でも早く安心して暮らせる大樹町にすることだと思う。



寺嶋 誠一 議員

# ここが聞きたい!

## 一般質問

### 質問

# サポカー補助等の取り組みは

### 答

## 制度周知と交通確保を検討

### Q1 高齢者交通事故防止対策について

#### 質問

急速な高齢化が進む中、高齢者ドライバーによる交通事故が社会問題となっている。道交法改正で高齢者講習の義務化や自主返納の対策がなされているが、本年3月から基準を満たす車両の購入や既存車両の安全装置取り付けに対して申請開始となった経済産業省の「サポカー補助金制度」の詳細を伺う。

#### 答 (酒森町長)

経済産業省の自家用自動車を対象としたものと、国土交通省の事業用自動車を対象にしたものを総称して「サポカー補助金」

としている。満65歳以上の方が対象で、購入車両によって補助金額や交付方法が異なり、安全装置を搭載した車を購入する場合には、最大10万円、後付けのペダル踏み間違い急発進制御装置を購入する場合は最大4万円の補助が受けられる。

#### 質問

町内では、市街地から遠隔の高齢者も多く、車は欠かすことのできない交通手段である。

自己負担の軽減を図り、サポトカーの普及を拡大することが事故防止にも成果があると思うので、国の助成金に加え、町独自の助成制度を設けてはどうか。

#### 答 (酒森町長)

町では、運転に不安を抱える高齢者の方に免許証を自主返納してもらい、ふれあいバスや通院バス、タクシー券の助成などで移動手段を確保してもらう取り組みを行っている。しかし十分なものはなっていないので、車を手放すことが難しい状況であると認識している。

#### 質問

身体的能力・判断力低下はあるが、不安を感じない高齢運転者の対策は。

#### 答 (酒森町長)

今年度「地域公共交通会議」を立ち上げ、大樹町にあった公共交通の在り方を検討し、買い物弱者をはじめ、交通弱者対策を推進する。

#### 辻本議員

高齢運転者が悲惨な交通事故の加害者、被害者とならず、健康でいきいきと暮らせる安心安全な町になることを望む。

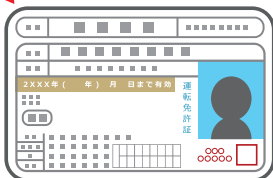
また、高齢運転者の事故防止に有効なサポカー事業の周知を図り、公共交通の在り方とあわせて検討していく。



辻本 正雄 議員



安全装置補助カーを体験





# ここが聞きたい!

## 一般質問

アルコールチェックする消防署員



### Q1 職員の労務管理・研修等について

会有一些あるので、実施について必要性を検討したい。

#### 答 (酒森町長)

時間外勤務は、各課の所属長が管理しており、その内容は毎月、総務課長に報告され、1人ひとりの時間を把握している。時間数の多い職員については、管理職を通じて、勤務の実態や業務の内容を確認し、業務過大・過重であれば、職員の人事体制を含めて検討する。

#### 質問

前日に飲酒し、酒が残っている自覚が本人になく、事故を起こして検挙された事例が管内でもあった。アルコールチェックで未然に防ぐことができるのではないか。

#### 質問

新規採用職員は町外の出身者が多いので、大樹をさらに理解し、地域に根差した人材育成のため、基幹産業の体験実習を取り入れてみては。

#### 質問

全国で飲酒運転根絶のため、多くの企業でアルコールチェックを導入しているが、町職員も実施しては。また、お店の方にも声掛けや気配りをしてもらうことで、飲酒運転根絶に繋がられるのではないか。

#### 答 (酒森町長)

繰り返し回答になりますが、日常的に朝から公用車を活用する職場にあっては導入の検討をする必要がある。

#### 質問

パワーハラスメントや事務引継ぎの問題対策は。

#### 答 (酒森町長)

町職員として幅広い視野に立ち、業務に生かせるかと考えるので、実施に向けて検討する。

#### 答 (酒森町長)

昨年からは消防署で実施している。職員も車を恒常的に運転することがあれば、業務を行う責任や交通安全の観点から、アルコールチェックの導入を考えなければいけない。運転が主業務ではない職員も公用車を使用する機

#### 質問

健全な職場環境作りのため、時間外勤務についてどのように把握し、どのように対応しているか。

#### 答 (酒森町長)

パワーハラスメントは、総務課に窓口を設置しているが、近年の相談実績はない。



### 答

### 必要性を考え検討

### 質問

## 職員アルコールチェック導入を



西山 弘志 議員

ここが聞きたい!

## 一般質問

質問

# 感染対策を補足した防災計画を

答

## 道の改定後に町民周知

**Q1** 新型コロナウイルス警戒状況下における防災対策について

質問

町民の安心安全な暮らしを守る事は行政の重要な責務だが、災害時において自助・公助・共助を前提とし、行政と町民1人ひとりが災害時の行動を想定することが極めて重要である。地震や風水害など多くの災害を想定するとともに、新型コロナウイルス対策との同時警戒が必要になった今、改めて災害時の行動を行政と町民が共有する必要があると考えるが、地域防災計画等の見直しと町民への周知について伺う。

答 (酒森町長)

地域防災計画は、北海

道から示される改正例に基づいて見直ししているので、感染症に対応した改正の通知が届き次第、内容を精査して、広報紙やホームページを通じて住民に周知を図る。

質問

地震や集中豪雨による水害の他、これから活発化する台風などの自然災害と、新型コロナウイルスの第2波、第3波の感染症の複合災害を想定した対策を考えているか。

答 (酒森町長)

道から示される改正に基づいて見直しを図るとともに感染症対策における防災対策についても避難所の在り方が問われているので、早い段階で検討する。

質問

感染症対策を軸とした避難所運営の考えは

答 (酒森町長)

災害による断水で手洗いができない場合、多くの方が一度に避難し、密集した状態になる可能性があり、新型コロナウイルス感染症に限らず、様々な病気の感染リスクが高まる事が予想される。

避難所での感染防止のためには、入室前の検温や体調確認が有効であり、状況に応じて医療機関の受診を勧める事も必要である。避難所の運営は、手指の消毒を徹底するとともに、マスクの着用、換気、共有部分のこまめな消毒の他、避難者同士の密集を避けるため、スペースの確保に留意する。



船戸 健二 議員

船戸議員

災害対策と感染症対策の複合災害について、職員と町民1人ひとりの防災意識の向上と周知を図り、町民の不安な心に寄り添う事ができるよう物心両面、事前の備えを怠らず、安心して暮らせる町づくりを進めていきたい。



手指消毒の徹底を



ここが聞きたい!

## 一般質問

台風被害を受けた管路



### Q1 災害時における水の供給態勢について

#### 質問

水道管の老朽化や水の使用量増加により管路更新を行っているが、どのくらいの期間でどのような順序で行うのか。

また、平成28年の台風による断水も記憶に新しいが、近年災害が多発しており、緊急時における飲料水や生活用水、営農用水を供給するバックアップ態勢について伺う。

#### 答 (酒森町長)

水道管路は、現在約321kmあり、耐用年数40年を経過した管路のうち、口径75mm以上の幹線管路を第一次重要路線として位置付け、全体延長の約

#### 答

災害協定で給水対応

#### 質問

災害時給水態勢を万全に

1割にあたる31kmを整備していきたい。

緊急時の飲料水は、地域防災計画における必要最低限の水(1人1日3リットル、人口30%分に対する3日分)を備蓄しており、応急用給水タンク2基を整備し、給水所開設の態勢を整えている。

生活用水や営農用水は、坂下・住吉配水系管路の一部を通水可能な状態としているほか、日本水道協会道東地区協議会と「災害時相互応援に関する協定」を結んでおり、応急給水活動態勢を整えている。

#### 質問

第一次重要路線31kmの更新予定期間と地区は。

#### 答 (水津建設水道課長)

更新期間は概ね10年間と考えている。

区域は、耐用年数を経過した古い順に、坂下浄水場を基点として日方地区までを位置付けている。

#### 質問

災害時相互応援に関する協定の詳細は。

#### 答 (水津建設水道課長)

主に、応急給水の応援や水道施設が破損した場合の応急復旧の支援についての協力となっている。

#### 質問

浄水場施設も老朽化しており、耐震診断を行ったと思うが、改築・更新の計画は。

#### 答 (水津建設水道課長)

簡易的な耐震診断調査を実施しており、危険建物の洗い出しはできているが、事業費が大きいため、計画的に行わなければいけない。

まずは、パイプラインを優先して更新したいと考えているが、関係部署とも協議できていない状況であり、今現在は未定である。

#### 松本議員

飲料水の備蓄は防災計画の目標値を満たしているが、人口の3割分であるため、備蓄量を増やす取り組みをしてほしい。



松本 敏光 議員

ここが聞きたい!

# 一般質問

質問

## コロナウイルス対策の徹底を

答

速やかに必要な対策を講じる

### Q1 新型コロナウイルス対策について

**質問**  
大樹町新型コロナウイルス対策本部の協議事項内容は。

**答** (酒森町長)  
感染症予防の啓発や周知方法、町有施設の利用制限、認定こども園等の受入、小中学校の休校、町行事や各種会議開催の有無、経済対策等について協議している。

**質問**  
マスクなど、衛生資材の備蓄や対応策は。

**答** (酒森町長)  
特別定額給付金申請書の送付に合わせ、町の備

蓄マスク1人あたり2枚を全世帯に送付し、学校や医療関係施設にも配布した。今後も感染拡大に備え、国の補助金を活用しながら整備したい。

**質問**  
特別給付金や休業等協力支援金の執行状況は。

**答** (酒森町長)  
国民1人につき10万円を支給する「特別定額給付金」は、給付基準日における町内の対象者が5,485人、2,747世帯。5月12日に郵送し、14日から申請受付。5月末までの申請者数は、5,025人(申請率91.6%)、世帯数は2,462世帯(89.6%)となっている。また、北海道の休業要請期間に休業等の自粛を行

った飲食店などには、大樹町独自の支援金として一律20万円を支給することとし、5月末時点で対象事業所34件への振込を完了している。

**質問**  
町出身大学生への支援は考えているか。

**答** (酒森町長)  
町出身大学生の人数は把握しておらず、国が「学生支援緊急給付金事業」を創設しているため、町独自の支援は今後の状況を踏まえて検討する。

**質問**  
今後予定している新型コロナウイルス対策はあるか。

**答** (酒森町長)  
「手指消毒・咳エチケット



西田 輝樹 議員

ット・距離の確保」など基本的対策の徹底を図るとともに、国が示した基本的対処方針や「新北海道スタイル」の実践に沿って感染防止に努める。



ここが聞きたい!

# 一般質問

特別定額給付金の臨時窓口を設置



## Q1 国の第2次補正予算の使い道について

質問

新型コロナウイルス感染症対策を主なものとする第2次補正予算案が閣議決定され、地方創生臨時交付金が2兆円積み増しになった。町への交付額と使途について伺う。

答 (酒森町長)

現時点での交付額は不明であるが、第1次補正を大きく超える予想される。感染防止対策や地域経済の活性化、教育関係など、きめ細やかな施策に取り組む。

質問

1人10万円の「特別定額給付金」を、基準日以降に誕生した子どもたちにも支給しては。

答

あらゆる施策を検討

質問

# 国からの交付金の使い道は

答 (酒森町長)

4月28日以降に誕生した子は、国の支給基準に該当しないが、子育ての観点から何らかの対応を考えた。

質問

新型コロナウイルス感染症拡大防止に効果がある手洗いを促進させるため、水道料金の基本料金を免除してはどうか。

答 (酒森町長)

有効な対策であるが、手洗いは日常的な行動であるため、免除は考えていない。しかし支払いが困難な方への猶予相談は応じる。

質問

避難所の感染拡大防止に段ボールベッドの配備を拡充してはどうか。

答 (酒森町長)

現在備蓄している58個のうち、四方と天面が覆

われたものは40個。感染拡大防止に有効なので、今後も同様のものを配備したい。

質問

雇用調整助成金の支給申請が複雑との声がある。一部簡素化されたが、さらに簡素化するよう国に求めてはどうか。

答 (酒森町長)

申請手続きの簡素化は全国知事会や全国町村会が緊急提言している。

質問

医療介護の従事・消防搬送など、感染クラスターの危険を防止するための対策はどうしているか。

答 (酒森町長)

それぞれの感染対策マニュアルを基本に、マスクの着用、手洗いや手指消毒をして対応している。また、検温を行い、発

熱等の症状があるときは出勤しないことを徹底し、「3つの密」を避け感染防止に取り組んでいる。

質問

PCR検査を促進するため、検査センターの設置を求める声があるが、管内の状況は。

答 (酒森町長)

管内では帯広保健所が1日10件を上回る検査が可能となるよう体制が強化され、検体数が多い場合は北見保健所や道立衛生研究所で検査する。

答 (黒川副町長)

今回、北海道の補正予算でPCR検査センター設置事業費が予算措置されたので、今後充実されていくと思う。十勝に整備されるかは不明であるが、推移を見守りたい。



志民 和義 議員

質問

# 第8期の新たな支援策と課題は

答

## 交通確保支援と住環境整備が課題

**Q1** 次年度以降の高齢者・障がい者福祉事業の取り組み

質問

各種福祉計画の検証と今後の課題は。

答 (酒森町長)

介護予防事業は、認知症サポーター養成講座など、健康寿命を伸ばす取り組みを拡充したが、高齢者住環境整備は、次期計画の課題と考えている。

答 (酒森町長)

4月現在、会員数は849名、加入率は約37%。60代を中心に、年々減少傾向にある。

質問

老人クラブの実態や加入率の分析をしているか。

答 (酒森町長)

4月現在、会員数は849名、加入率は約37%。60代を中心に、年々減少傾向にある。

質問

健康相談や健康教育等の派遣件数が、年々減少しているように思うが。

答 (酒森町長)

昨年度は、依頼に応じて12団体延べ26回、保健師を派遣した。

答 (井上保健福祉課長)

包括支援センターと業務役割分担を行ったため、保健師は重症化予防対策を強化している。

質問

高齢者運転免許証自主返納事業の状況と、支援助成の見直し、手続きの簡素化について。

答 (酒森町長)

6年間で75件の返納があり、町では運転経歴証明書等の交付手数料を助成。今後、支援内容の充実を検討したい。

答 (林住民課長)

返納しやすい環境づくりのため警察と相談する。

質問

高齢者から高評価の自働運転実験結果を踏まえ、今後の福祉計画は交通確保の支援策が喫緊の課題ではないか。

答 (酒森町長)

地域公共交通会議や、福祉計画策定会議でも協議していきたい。

質問

対象者が楽しみにしている敬老会は、今回どのように開催する予定か。

答 (酒森町長)

感染防止や安全確保の観点から、八〇二〇表彰を含め、開催に向けて時期や形態を検討する。

質問

第8期福祉計画は、住環境整備を重点施策として提案し、委員による評価検証をしようか。

答 (酒森町長)

第7期の計画で、住環境の整備に取り組みなかつたので、次期計画で実現を目標としたい。

齊藤議員

高齢者が高齢者を見守っていく社会において、老人クラブやことばぎ大など学などが充実するよう、関係機関と連携しながら、第8期高齢者保健福祉計画の策定と委員による評価検証に期待する。



齊藤 徹 議員



昨年の敬老会の様子



# 一目でわかる 審議結果

## 全会一致の議案

第1回臨時会	専決処分した事件の承認について 借入企業債の利息見直しに係る償還元金が増えたことに伴い、病院事業会計補正予算について承認しました。	承認
	令和2年度大樹町一般会計補正予算(第1号)について 新型コロナウイルス感染症流行に伴う町の経済対策や行政区会館備品などの予算を追加しました。	原案可決
第2回臨時会	令和2年度大樹町一般会計補正予算(第2号)について 新型コロナウイルス感染症流行に伴う国の特別定額給付金1人10万円に係る予算を追加しました。	原案可決
	財産の取得について 43人乗り大型バスを購入することとしました。	原案可決
	財産の取得について 町営牧場の飼料用ミキサフィーダーを購入することとしました。	原案可決
	財産の取得について 除雪グレーダを購入することとしました。	原案可決
	財産の取得について 給食センターの立体型炊飯器を購入することとしました。	原案可決
第3回臨時会	固定資産評価審査委員会条例の一部改正について 固定資産評価審査委員会の審査の手続き等について定めている法律の名称が改正されたことに伴い、条例の一部を改正しました。	原案可決
	大樹町税条例等の一部改正について 地方税法等の一部を改正する法律と関係政令等の施行、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における地方税法等の一部が改正されることに伴い、条例の一部を改正しました。	原案可決
	大樹町国民健康保険条例の一部改正について 国民健康保険の被保険者が新型コロナウイルス感染等により就労できない場合に、傷病手当金の支給が受けられるように条例を改正しました。	原案可決
	大樹町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について 後期高齢者医療制度の被保険者が新型コロナウイルス感染等により就労できない場合に、傷病手当金の支給が受けられるように条例を改正しました。	原案可決
	令和2年度大樹町一般会計補正予算(第3号)について 子育て世帯への臨時特別給付金に係る費用や役場と生涯学習センター通信機器の修繕料を追加しました。	原案可決
	令和2年度大樹町国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)について 国保被保険者へ新型コロナウイルスに係る傷病手当金を支給するための予算を追加しました。	原案可決
	財産の取得について 移動図書館車を購入することとしました。	原案可決



次のページへ続く

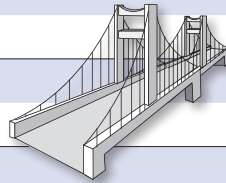
## 表決が分かれた議案

※安田議長は表決に加わりません。

議案名		寺嶋誠一	辻本正雄	吉岡信弘	西山弘志	村瀬博志	船戸健二	松本敏光	西田輝樹	菅敏範	志民和義	齊藤徹	安田清之	結果
第3回臨時会	大樹町国民健康保険税条例の一部改正について 地方税法施行令等の一部を改正する政令等の施行に伴い、条例の一部を改正しました。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	原案可決



第2回定例会	令和元年度大樹町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告済
	令和元年度大樹町一般会計から2億2,216万7,000円を翌年度に繰り越しました。	
	人権擁護委員の候補者推薦について	適任
	人権擁護委員に太田勝義氏を推薦することを適任としました。	
	大樹町固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
	大樹町固定資産評価審査委員会委員に、宮原章夫氏を選任することに同意しました。	
	教育委員会委員の任命について	同意
	大樹町教育委員会委員に、一戸勉氏を任命することに同意しました。	
	大樹町農業委員会委員の任命について	同意
	大樹町農業委員会委員18人を任命することに同意しました。	
	大樹町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
	新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した被保険者の国民健康保険税について納期限が過ぎた後でも減免申請ができるように条例を改正しました。	
	大樹町介護保険条例の一部改正について	原案可決
	新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した被保険者の介護保険料について納期限が過ぎた後でも減免申請ができるように条例を改正しました。	
	令和2年度大樹町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
	歳入歳出それぞれ2億104万2,000円を追加し、予算の総額を78億2,876万5,000円としました。	
令和2年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）について	原案可決	
歳入歳出それぞれ93万8,000円を追加し、予算の総額を6億7,473万8,000円としました。		
辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	
晩成行政区会館を改築するため総合整備計画が策定されました。		
工事請負契約の締結について	原案可決	
晩成行政区会館改築工事の請負契約を5,379万円で締結しました。		
工事請負契約の締結について	原案可決	
ふるさと大橋修繕工事の請負契約を5,552万8,000円で締結しました。		
工事請負契約の締結について	原案可決	
日方団地3号棟新築工事（建築主体）及び外構工事を6,985万円で締結しました。		
福祉センターのリニューアルについての要望	継続審査	
利用実態や管理状況、代替可能な施設の有無などを調査するため、継続審査としました。		
新たな基本計画における農村振興の強化を求める意見書採択に関する陳情書	採択	
農業施策は基幹産業が農業の大樹町に深い関わりがあるため、要望を採択しました。		
食料・農業・農村基本計画における農村振興の強化を求める意見書の提出について	原案可決	
陳情を受け、内閣総理大臣・農林水産大臣などの関係省庁に意見書を提出しました。		



### 広報広聴常任委員会 広報部会



委員長 志和 正雄  
 委員 吉岡 信弘  
 委員 西藤 健二  
 委員 船山 弘志  
 委員 齊藤 徹  
 委員 辻本 正雄  
 委員 吉岡 信弘

委員 吉岡 信弘

### 編集後記

新型コロナウイルス感染症により世界は悲惨な状況にあります。日本では6月末現在、974人の方が亡くなられています。冬期間に流行し、毎年数千人が亡くなっているインフルエンザと違い、年中感染の恐れがあります。早急にワクチンや治療薬が完成し、治療法が確立され、一刻も早くマスク無しの日常に戻る事を願っています。